公益社団法人北海道看護協会 札幌第1支部

さっぽろ 第1支部だより

vol.71
2023.2

2023年2月7日発行 ■ 編集発行／公益社団法人北海道看護協会 札幌第1支部 ■ 編集責任者／勝見 真澄

01 セルフコンパッション ～勇気と思いやりを持って生きる～

● 講師：佐高 葵月代

2022年９月３日（土）、アドラー心理学の専門家である（有）ヒューマン・ギルドの岩井俊憲先生に師事し、教育機関や自治体、企業で研修、講演、講座を通してアドラー心理学を広めている佐高先生を講師に迎え、zoomウェビナーでの研修会が開催されました。

研修では、自分自身や他者を勇気づける方法、自分へ優しくする方法やプロセスを教わり、呼吸法やスージングタッチを先生と一緒に実践することで、効果を実感することができました。

看護職として日々忙しく働いている私たちは、心も身体もぐったりしてしまうこともありますが、１日の最後に、がんばったこと、良かったことを一生懸命思い出して３つ書く作業で１日を終えることで、「今日も大変だったけど、思ったより悪くなかったな」と思い、眠りにつけるそうです。皆さんも一緒にやってみませんか？

札幌第1支部　広報委員会　黒田　佳恵

02 令和4年度 北海道看護協会第1支部　第2回 医療安全交流会

令和４年10月８日（土）zoomオンラインにて「スペシャリストに聞く いますぐできる認知症ケア ～認知症に関する医療訴訟と具体的看護技術の実際～」が開催されました。

一つ目は、フェアネス法律事務所、中村智弘先生による「認知症医療訴訟事例から患者と自分を守ろう ～安全な看護につなげるために私たちがすべきこと～」の講義となっており、「説明と同意」「看護記録の採り方」をテーマとした内容でした。「説明と同意」では、説明と同意の必要性、同意能力、成立要素、効果、損害賠償請求など、「看護記録の採り方」では、記録の目的、５W1Hの確認、記録の意味、記載方法など事案を通して学ぶものでした。説明と同意の手段と方法や看護記録の記載方法によっては、患者だけではなく自身や医療機関に不都合が生じてしまい問題となるため、継続してきた業務や行動のなかに間違いがなかったのかを改めて考えていかなければならないと思いました。

二つ目は、埼玉森林病院教育専任師長、南敦司先生による「認知症基本的対応技術 カンフォータブル・ケア」の講義でした。カンフォータブル・ケア（認知症の方へ快刺激を中心に関わること）は10項目を意図的に実施するケア技術であり、いつも笑顔、いつも敬語などの各項目を南先生ご夫婦の実演を交えながら資料では伝わらないところも表現されていたため、わかりやすく、そして楽しく学べました。また、チームの中で認知症の方に対するタメ口やちゃん呼び等の言葉使い、安易な車いす・ベッド固定、存在の無視などの不適切な対応「ミスケア」があればカンフォータブル・ケアが機能しないため、指摘しあえるチームづくりが重要であることを改めて学べました。

認知症に関わる様々な状況、対応を医療安全を通して学ぶことができ、安全な看護につなげるために何ができるかを改めて考える良い機会となりました。

札幌第1支部　広報委員会　田村　嘉生

03 市民フォーラムをご紹介

2022年11月19日（土）社会医療法人カレスサッポロ　カレス8ホールにて北海道看護協会札幌第1支部主催の市民フォーラムが開催されました。テーマは「美味しく・上手～く食べよう　人生100年時代」です。

歯科医師の藤本先生、老年看護専門看護師の三浦先生、摂食・嚥下障害看護認定看護師の松澤先生を講師にお招きし、口から食べ物を摂取する事の大切さについて学びました。人間は誰でも年齢を重ねていき身体が老化していきます。私たちは足腰の弱りなどには気にかけ気付きやすいですが、今回市民フォーラムに参加して「食事をするための口腔機能も衰えてくる」ことに気付くことができました。日本人の平均寿命も年々伸びています。口腔機能を維持して楽しく食事をし、健康寿命を延ばし、楽しい老後を過ごしたいと感じました。講義の中で、口腔機能を回復・維持するためのトレーニング方法も紹介されており、市民フォーラムの続編として口腔機能を回復・維持するためのトレーニングの実践を行っていただけたら、その時にはまた参加したいと思いました。札幌第1支部勝見支部長のあいさつの中に、「札幌市民みなさんの健康維持のお手伝いができたら」とありました。病院勤務の私にとって忘れかけていた予防医学の大切さを思い出した、とても胸に響いた言葉でした。有難うございました。

札幌第１支部　広報委員会　佐藤　知子

04 札幌第一支部大会 講演会

令和５年２月18日（土）13:30～15:00に札幌パークホテルで令和４年度札幌第一支部講演会として札幌大谷大学 社会学部地域社会学科 特任教授 二通　諭先生による「発達障害や精神的な困難を抱える人々に対する支援のあり方」をテーマに講演会が開催されます。発達障害や精神的な困難を抱える患者さん、ご家族、スタッフなどの方々の特性や障害への理解を深め、適切な支援や配慮、工夫を考えていくことでより良い看護やスタッフへの関わりにつなげられるように講演会が企画されています。

札幌第１支部　広報委員会　佐藤　達也